

PC 遊悩クラブ・ミニコミ誌

2017 年 8 月 25 日発行 第 26 号

編集 鈴木 俊夫

ご挨拶

はじめまして！

2017 年 7 月から、当クラブに参加いたしました鈴木です。

クラブの皆さんとの楽しいおしゃべりと、雰囲気を感じ、有意義な時を過ごしたいと考え参加させて頂きました。宜しくお願いいたします。



東北旅行のお話

■2017 年 5 月 31 日から 6 月 4 日にかけて、妻と二人で東北を旅行して来ました。ここでは、写真と合わせて旅行の様子をご紹介します。

【一日目】

一日目は「水森かおり」の歌で有名な、東北の日本海沿線を走る五能線に乗ってきました。

観光電車も走っていますが、今回は雰囲気を感じたく一日に 3 本しか走らない在来線を、岩館駅(いわたてえき)から鰺作駅(へなしえき)まで乗車してきました。

二両編成の電車で、何と乗車客は他に 1 名のみで、ほぼ貸し切り状態です。

駅長さんの話では、「電車で行くより車の方が早いですよ」との事で、地元の人は電車を殆ど利用しないとの事です。

鰺作駅(へなしえき)には、海に手が届くような近くの場所で温泉に入れる深浦不老不死温泉があります。

温泉は、混浴と女性専用の湯舟があり、混浴の方は事実上の男性風呂となっています。

日本海に沈む夕日を見ながら温泉に入ると命が伸びると言われていますが、今回は天気と時間の都合で、夕日を見ながらの入浴は叶いませんでした。次回は、夕日の中で温泉に浸かり命の洗濯をしたいと思っています。

※写真は一部 google の画像検索結果と食べログの写真を再活用しています。

●日本海沿線を走る五能線と岩館駅(いわたて)駅の様子



●深浦不老不死温泉



[二日目]

二日目は、宿泊先の深浦観光ホテルを出発し、シジミ貝が名産の「津軽十三湖ドライブイン」で一休みして、メインの目的地である津軽半島先端にある竜飛岬を目指しました。

道中は、かなりの急カーブ・急勾配の連続で本州最北端へ向かう雰囲気十分です。

更にこの日は、朝から天気が悪く、石川さゆりの歌「津軽海峡冬景色」の歌詞にある「風の音が、胸を揺する泣けとばかりに…」と歌われている情景さながらの雨と風で、迫力満点のドライブとなりました。

雨風で苦勞しながら、やっとの事で竜飛岬に着いた時は、私の強運の為か？ 幸運にも天気が回復し曇り空ながら津軽海峡の視界が開け、雄大な景色を堪能する事が出来て感激しました。

見物が一段落した頃には、お腹が空いてペコペコです。

津軽へ来た時のもう一つ楽しみは食事です。今回は事前に予約しておいた有名な「生うに丼」を食し、至福のひと時を過ごす事が出来ました。

今日は、「冒険心とお腹」両方が満たされた大変充実した一日となりました。

[三日目]

三日目は、宿泊先である「岩手網張温泉」から秋田県湯沢の「小安峡」を目指しました。

小安峡に行くには、山道を長時間走る必要があります。スケジュールの都合もあり途中の観光ポイントに寄ることも出来ず退屈な移動となりました。

目的地に到着すると、早々に川沿いの遊歩道を歩く事としました。間近の岩から水蒸気が噴き出し体を包み込む様子を目の当りにすると、怖い程の迫力を感じました。

こんなに近くで火山活動の息吹を感じることができる場所は数少ないと思います。

この日は、車中移動時間が長かった為か大変疲れました。

早々に、見物後は次の宿泊先である新白河の温泉へ向い体力の回復を図る事としました。

● 竜飛岬の景色



● 津軽の「生うに丼」



● 湯沢の小安峡



[四日目]

あっという間に旅行の最終日である四日目となりました。

今日の予定は、新白河から那須高原越えて塩原温泉に行く予定です。

塩原観光は初めてでしたので、約二時間の「町巡りツアー」を申し込み「ボランティアガイド」の方に街中を案内して頂きました。

尾崎紅葉が「金色夜叉」を執筆した温泉旅館を含めた風情溢れる昔ながらの温泉街を歩き当時の空気に触れ、また一方では最近コスプレヤーの聖地となっているらしく、撮影ポイントや街中をコスプレの若者達が多数屯(たむろ)する新しい塩原を目前にし、新旧混在する街並みに驚きながら興味深く塩原温泉郷を観光致しました。

尚、プチ情報ですが塩原温泉郷に行く途中で休憩した「道の駅アグリパル塩原」のメロンパンは絶品です。那須に行かれた時は、立ち寄り食される事をお勧めいたします。

-完-

今回の旅は、良き見所と多くの人々に触れ合える事が出来ました。しかし、時間の都合で訪れてみたかった陸奥半島の恐山まで足を延ばせなかった事が心残りです。

帰宅後、新たに陸奥半島を巡る旅行に挑戦したいと思いを膨らませている所です。

[参考]

右図に今回のドライブの順路図を載せました。何と 2,000Km 程の距離を車で走破したことになります。流石に疲れました。

●ドライブ順路



●那須塩原温泉郷



※塩原温泉町めぐりツアーのポスター



●道の駅アグリパル塩原

